

## <プログラムのハイライト>

### ●特別講演 I (10月25日 11:00~12:00)

改正RI法の施行が来年に迫っています。今やらなければならないことを原子力規制庁の放射線規制部門の鶴園 孝夫氏に解説いただきます。最新の放射線規制の動向もお話しいただきます。

### ●シンポジウム I (10月25日 14:40~16:10)

法令改正、拠点化構想、知識の伝承など主任者と放射線施設を取り巻く諸課題について、各分野で始められている取り組みについて紹介し、これからの放射線安全管理のフレームワークに向けた企画専門委員会をはじめとする本部会のミッションを考えるため、情報と問題意識を共有し、皆様とともに意見交換を行う予定です。

### ●特別講演 II (10月25日 16:30~17:40)

昨今、国内ではさまざまな災害が生じており、放射線施設においても災害への対応をどうするかについて、より具体的に考える必要があります。自然災害対策の第一人者、東北大学災害科学国際研究所の越村俊一氏をお迎えし、「東日本大震災の教訓と巨大災害への備え」と題して、自然災害に対する心構えをご教示いただきます。

### ●シンポジウム II (10月26日 9:50~11:00)

福島第一原子力発電所の事故から7年以上経過しました。いまだに風評被害がある中で、一方では意識の風化が進んでいる指摘もあります。これらの課題について、現在の原子力発電所の廃炉状況や復興に向けての現場からの報告を受けながら、一緒に考えてみませんか。

### ●特別講演 III (10月26日 11:10~12:10)

脳の発達・加齢研究の第一人者である川島隆太氏に、最新の話題、特に脳の健康寿命延伸の社会実装についてご紹介いただきます。川島氏は放射線科医としてキャリアをスタート。PETを使った脳の賦活研究で仁科記念サイクロトロンセンター(NMCC)の活発なユーザでもありました。

### ●シンポジウム III (10月26日 13:20~14:20)

現在、さまざまな分野での加速器利用が広がっています。NMCCは平成元年に建設が開始されたセンターで、平成の加速器の歴史を体現してきたセンターでしょう。NMCCから世良耕一郎氏をお招きし、NMCCが果たしてきた役割を解説していただきます。そしてポスト平成にできる新しい加速器が東北放射光施設です。高田昌樹氏に未来の加速器のお話をさせていただきます。

### ●ポスター発表

本年度のポスター発表を皆さまにより一層を楽しんで頂くため、ポスター発表会場を交流会会場と同一とし、交流会時もポスターをお楽しみ頂けるようにいたしました。発表者の常駐は発表時間だけですが、お飲物片手にゆっくりとポスターをご覧になって下さい。

### ●相談コーナー (10月25日 12:00~13:20、展示室)

放射線管理業務における疑問やお困りごとなどについて、ご相談をお受けいたします。放射線管理・取扱い、法令、RI供給・廃棄など幅広い分野でお受けいたします。お気軽にお立ち寄りください。

### ●機器展示

放射線関連サービス会社、製品メーカーによる様々な展示を行います。各企業の最新情報を知ることができる貴重な機会です！お時間の許す限り、何度でもお立ち寄りください。